

## 公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はぴねすⅡ			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 24日 ~ 2025年 12月 5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 24日 ~ 2025年 12月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 19日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士が2名・児童指導員1名在籍しています。	経験のあるスタッフによる安全で安心できる支援を心掛けております。安全を第一に考え、子ども達も保護者の方も安心して楽しんで過ごしていただけるように心掛けております。	現在も取り組んでいますが、子ども達一人ひとりニーズに合わせた支援を取り組んでまいります。
2	スペースが丁度良い広さの為、密なコミュニケーションを取ることができます。運動場もあり、体をしっかりと動かすことができるスペースもあります。	子どもたちのできた事、成長した点を毎日振り返って子供たちに伝え、自信に繋がるように支援しています。事業所内だけでなく、屋外が活動も行い、気持ちの発散や体の成長を促進できるようにしています。	スタッフ一人ひとりが子供たちの成長をよく観察し、マイナスに思えるような点でもその背後にある子供たちの気持ちを理解できるように努めます。
3	子どもたちが色々な経験ができるイベントがあります。	遠足や社会見学、買い物、夏祭り、バイキング等の活動を提供し、楽しみながら成長出来る機会を作るようになります。	イベントがパターン化しないように、子どもたちの状況や成長に合わせて創意工夫を図るようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プレイルームのスペースが限られており、バリアフリーが万全は無い箇所があります。	プレイルームは十分にスペースを取っていますが、活動によっては少し手狭に感じる時があります。入り口付近に段差があり、車椅子等が入りにくい状況になっています。	段差を解消し、様々なケースに対応できるように検討していきます。活動の内容によって分散することにより、余裕を持ってスペースを取りながらサービスを提供していきます。人数やその日の状況により活動や場所を調整するようにします。
2	送迎の範囲を指定させていただいている。	子どもたちの活動時間を確保するため、事業所から20分圏内の対応とさせていただいている。	送迎の範囲外でも、ご相談によっては対応方法を検討させていただきます。
3	全体的に小学校低学年の子どもたちのご利用が多いです。	活動内容は小学生に合わせた内容になっておりますが、未就学のお子さんがご利用の場合は状況によって個別で対応しております。	小学生と交流することにより、就学後の雰囲気を感じたり、年上からの良い刺激を受けることができますので、上手に関わりを持つことができるようサポートします。